

# \* ジョン万ニュース \*



## 第18回米国ジョン万祭りに参加しました！



令和5年10月7日（土）、アメリカの姉妹都市フェアヘーブンで開催された第18回ジョン万祭りに、土佐清水市姉妹都市友好協会事務局、清水高等学校、一般参加者ら合計23名が参加し、土佐清水市と姉妹都市との絆を深める交流を行ってきました。

これまで日本とアメリカで隔年で開催されていたジョン万祭りですが、新型コロナの影響により中止もあり、4年ぶりの参加となりました。

当日はあいにくの天候となり、屋内での実施でしたが、清水高校生7名らにより米国ジョン万祭り恒例の書道など日本文化紹介ブースを設け、会場を盛り上げました。会場ではそのほか和太鼓や尺八の演奏なども行われており、訪れる人たちが興味深く見入っていました。

祭りには主催のホイットフィールド万次郎友好協会のルーニー会長夫妻、フェアヘーブンの議会議員、ホイットフィールド船長・ペリー提督の御子孫らが参加しており、祭りの最後には「あしずり踊り」を多くの参加者と楽しく踊りました。

翌日には万次郎やホイットフィールド船長ゆかりの地をめぐる「万次郎トレイル」に参加し、万次郎が通った学校や船長のお墓などを訪れ、献花を行いました。参加者はそれぞれに、当時の様子について思いをはせました。

今回の訪問では、ホイットフィールド万次郎友好協会の方々をはじめ、多くの方に温かく歓迎していただきました。今後も姉妹都市交流により日米友好の輪を広げていけるよう、活動を行っていきます。

## ～参加した清水高校生の感想を紹介～

### 扇喜 賢児（3年）

アメリカに行くことになった時、もちろん興奮していましたが、どちらかといえば不安な気持ちが大きかったです。ネイティブの方と話は通じるのか、友好関係を築けるだろうかとたくさんの不安がありました。しかし、今回の留学で何事にも取り組んで行くことの大事さを知りました。チャレンジしていくことで自分の可能性が広がっていくことを実感し、今までの自分の考えや価値観が大きく変わる経験ができました。私は大学で英語と異文化理解について学んで行くつもりです。この経験を大学での学びやこれからの人生で活かしていきたいです。



### 佐竹 佑奈（2年）

今回の旅で改めてジョン万次郎は国境を超えて愛されているのだと感ずることができました。また、今までは英文法をしっかりと学習したうえでコミュニケーションを取ることができると思っていたけれど、実際に行ってみて、片言でも伝えようとする気持ちがあればコミュニケーションが取れるということを知りました。現地では最高のおもてなしで私たちを歓迎してくれて、フェアハイブンの皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。アメリカで視野を広げることができたので、この経験を無駄にせず、進路の幅を狭めることなく、高いところを目指していきたいです。



### 中山 日莉（2年）

外国の人とかなりコミュニケーションが取れました。また、現地の人がとても親切で、おそらく聞き取りにくい私の英語も、一生懸命理解しようとしてくれたので、コミュニケーションが取りやすかったです。いつも英語の時間にやっているSmall talkもフェアハイブン高校生との交流で質問タイムのときに活用できました。いろいろなことが聞けて、趣味が同じだったり面白かったです。みんなで協力しながらジョンマン祭りを開催することができたのもすごく思い出に残りました。書道で名前を書いて渡したらみんなとても喜んでくれたので嬉しかったです。来年は土佐清水市に来てくれるので、今年の感謝を込めて、日本の最高のおもてなしをしたいです。



## 溝渕 逞仁（2年）

旅のメンバー、現地の人との関わりを通して、自分を理解してもらうためにはやはり相手から理解してもらうのを待つのではなく、自分から積極的にコミュニケーションを図らないといけないと思いました。英語を聞き取れないことが多かったけど、話げたときの達成感はとても大きかったです。また今までは行事などに積極的に参加してきませんでしたが、この経験を通して自信を持つことができました。これからは積極的に様々な活動に取り組んでいきたいです。高校生のうちに海外に行くということは貴重な体験だと思うし、これからはこの旅で学んだことを生かしていきたいです。



## 山本 隼輔（2年）

この旅に参加して、はじめは文化の違いや言語の違いに少し戸惑いもあって、不安に感じていた部分も多かったですが、旅の途中からは徐々に自分らしさを出しながら、現地の高校生と交流したり、自分で英語を使いながら注文したりすることもできたので良かったです。また、この体験をさせてもらったからには、旅でできた人との繋がりを大切にしていくなけりゃならない、この体験を周りに伝えていく義務もあると思うので、ジョン万次郎関係のイベントや地域のイベントに参加したり、高校だけではなくより多くの人にこの体験を伝えられるようにしていきたいです。ほんとうに貴重な経験をありがとうございました。



## 山本 蘭（2年）

自分を表現することがあまり怖くなくなり、初対面の人と話したり、英語で積極的に話すことができるようになりました。ネイティブの方の発音や会話の流れ、速さなどを学ぶことができ、自分の夢に一步近づけたと思います。高校生のうちに海外を経験できたことは、これからの人生で強い武器になると思っています。将来、学生の留学に携わり、手助けができるように外国語の勉強に励みたいです。来年は、フェアハイブンの方が土佐清水市に来てくれるので、その時にコミュニケーションがしっかり取れるように、来年までにもっと勉強して、自分流のおもてなしができたらいいなと思います。

## 山本 琉愛（2年）

英語という言語にととても親近感を持つことができました。授業で学習した内容を活かす場面もあり、自分の学習してきたことに自信を持つことができました。英語しか使えない状況でどれだけ頑張れるのか知ることができ、課題も見つかりましたが、「意外といけた！」と思えたことが、今後英語を勉強するにあたってのモチベーションになりました。そして、英語がわからないから相手に任せるのではなく、自分から話題を振ってみることで、何について話しているのか理解した上での会話ことができました。ジョンマンスピリットの一つである「チャレンジ精神」の大切さも学ぶことができ、とても良い経験になりました。



## 2023 第10回 とさしみずハロウィンパーティーを 開催しました☆☆



毎年恒例となったハロウィン仮装パレードですが、今年は、「phumi Belly dance institute」によるベリーダンスや、参加者全員で踊る「モンスターマッシュダンス」などのステージイベント、「魔女のスープ」や「天使のなみだ」などのラベルがついた「じごくのジュース」ブースなどとともに10月28日(土)に開催されました。

イベント後半では、それぞれお気に入りの仮装をした子ども達が保護者やALTとともに商店街をまわってお菓子を受け取り、異文化体験・交流を行いました。

## 清水小学校が沖縄の小学校と 給食交流を行いました❀

12月4日(月)、清水小学校の5年1組・2組、6年1組・2組のこどもたちが、沖縄県豊見城市の座安(ざやす)小学校の5年生たちと、給食時間に交流を行いました。

交流はお互いの小学校で提供される給食のメニューを入れ替え、リモートでお互いの市の紹介や、お互いの市や学校について聞きたいことを質問するなどして実施しました。

清水小学校ではもずく丼やシークワサーゼリーが、座安小学校では宗田節のかきたま汁や和え物などがメニューとして並びました。清水小学校への質問では、土佐清水市のおすすめスポットや、雪は降るかななどを聞かれ、こどもたちはそれに対し元気に回答していました。



## 土佐清水市姉妹都市友好協会 会員募集中!

ジョン万次郎が好きな方、土佐清水市と姉妹都市との交流や国際交流に興味がある、応援したいと思ったださっている方等、どなたでもご入会いただけます。ジョン万次郎の偉業を見直し、姉妹都市の方々や文化にふれあってみませんか?

### ●年会費

普通会員 1,000円以上  
特別会員(団体等)  
10,000円以上

### ●会員特典

- ①会員証の発行
- ②ジョン万次郎資料館 入館料無料!
- ③「ジョン万ニュース」送付

